

2017年3月期 連結業績概要

執行役員
山西 哲司

◆売上高、営業利益とも通期ベースで過去最高を更新

- 売上高は前年同期比2.3%増、営業利益は事業譲渡益を計上し、対前年123.4%増。
- 高周波部品、二次電池が円高為替影響を吸収し増益、全社収益を牽引。
- 二次電池は売上・営業利益とも通期ベースで過去最高を更新。

◆HDD市場が期初想定より堅調に推移

- HDD市場予測（当社推定）：期初4.0億台→実績4.2億台

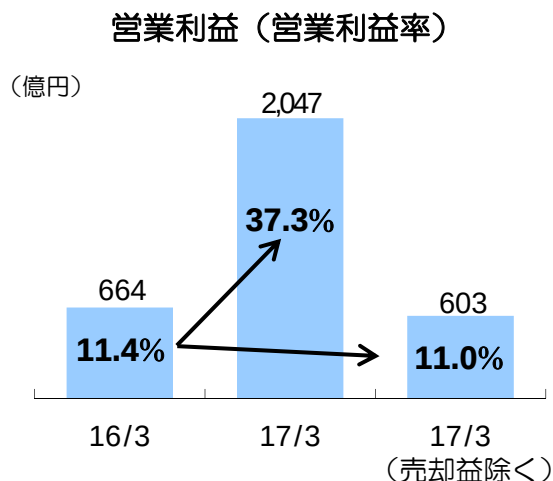
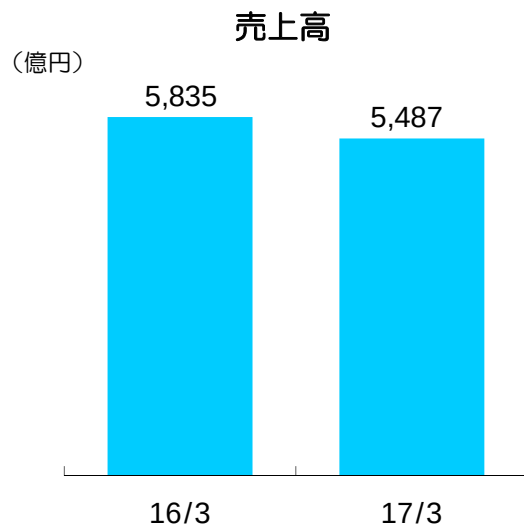
◆大胆な事業ポートフォリオの転換を実施

- Qualcomm社との業務提携ならびに合併会社設立契約がクローズ。
- 成長戦略に沿った新たなM&Aを実施。事業ポートフォリオを大きく転換する施策を実行。
- 既存事業の収益構造転換を加速し、収益体質強化に向けた構造改革を実行。

2017年3月期 連結業績概要



(億円)		2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	前期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		11,523	11,783	260	2.3
営業利益		934	2,087	1,153	123.4
営業利益率		8.1%	17.7%		-
税引前利益		918	2,117	1,199	130.6
当期純利益		648	1,451	803	123.9
1株当たり利益 (円)		514.23	1,150.16	-	-
為替	対ドルレート (円)	120.13	108.46	9.7%の円高	
	対ユーロレート (円)	132.67	118.92	10.4%の円高	
為替変動による 影響金額		売上高：約 1,291億円の減収 営業利益：約 267億円の減益			



売上高 5,487億円（前期比6.0%減）

営業利益 2,047億円（前期比208.3%増）

※売却益を除いた営業利益は603億円（前期比9.2%減）

●セラミックコンデンサ

- ・売上は前期比で減少。
- ・自動車市場向け販売が増加。ICT市場及び産業機器向け販売は減少。

●インダクティブデバイス

- ・売上は前期比で減少。
- ・自動車市場向け販売が増加。ICT市場向け販売は減少。

●高周波部品

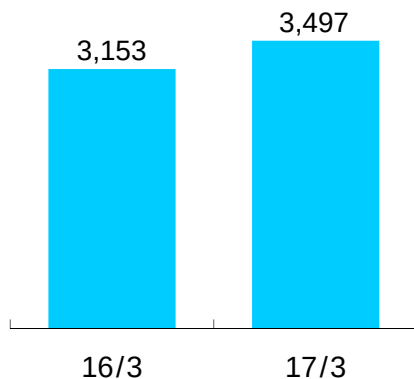
- ・製品の大部分をQualcomm社と設立した合併会社RF360へ移管（2017年2月3日完了）。
- ・ディスクリット製品及びダイバーシティモジュールの販売は増加したものの、Wi-Fiモジュールの販売減少及び製品移管の影響で、売上は前期比で減少。
- ・利益率は前期比で向上。

●圧電材料部品

- ・売上は前期比微減。
- ・中国スマホ向けカメラモジュールアクチュエータは堅調。

売上高

（億円）



売上高 3,497億円（前期比10.9%増）
営業利益 △18億円（前期比 —）

●HDDヘッド

- ・売上は前期比で増加。
- ・HDDヘッドの販売は期初想定より堅調に推移。

●磁気センサ

- ・前期4Q（2016年3月）に買収完了したミクロナスの磁気センサの販売が、自動車市場向けに堅調に推移。

●マグネット

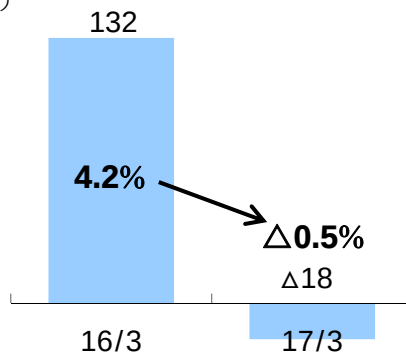
- ・売上は前期比で減少。
- ・HDD向け販売が減少。

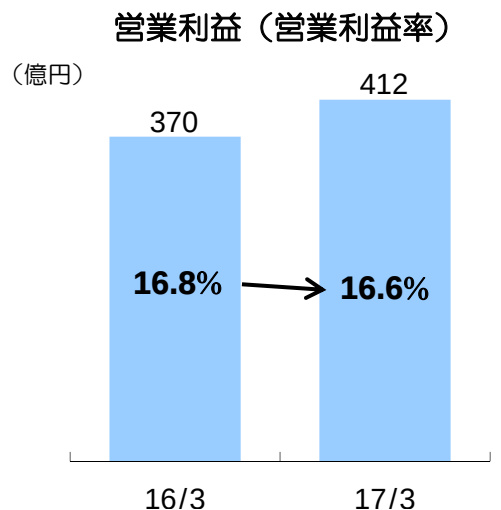
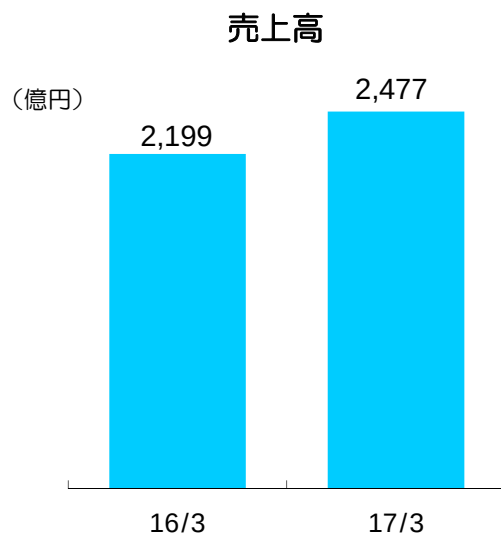
●電源

- ・売上は前期比で減少。
- ・産業機器市場向け販売が減少。

営業利益（営業利益率）

（億円）





売上高 2,477億円（前期比12.6%増）
 営業利益 412億円（前期比11.4%増）

●エナジーデバイス（二次電池）

- 売上は前期比で増加。
- 顧客基盤の拡大によりスマートフォン向けの販売が大幅に増加。
- スマートフォン以外の新規アプリケーション向けの販売も堅調に推移。
- 前期と同水準の高利益率を維持。

2017年3月期 セグメント別通期実績



(億円)			2016年3月期 通期実績		2017年3月期 通期実績		前期比	
			金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)
売上高		コンデンサ	1,504	13.1	1,368	11.6	△136	△ 9.0
		インダクティブデバイス	1,551	13.5	1,453	12.3	△98	△ 6.3
		その他受動部品	2,780	24.1	2,666	22.6	△114	△ 4.1
		受動部品合計	5,835	50.6	5,487	46.6	△348	△ 6.0
		記録デバイス	2,198	19.1	2,621	22.2	423	19.2
		その他磁気応用製品	955	8.3	876	7.4	△79	△ 8.3
		磁気応用製品合計	3,153	27.4	3,497	29.7	344	10.9
		フィルム応用製品合計	2,199	19.1	2,477	21.0	278	12.6
		その他	336	2.9	321	2.7	△15	△ 4.5
		合計	11,523	100.0	11,783	100.0	260	2.3
営業利益		受動部品	664	11.4	2,047	37.3	1,383	208.3
		磁気応用製品	132	4.2	△18	△ 0.5	△150	-
		フィルム応用製品	370	16.8	412	16.6	42	11.4
		その他	12	3.6	△67	△ 20.9	△79	-
		小計	1,178	10.2	2,374	20.1	1,196	101.5
		全社および消去	△244	-	△288	-	△44	-
		合計	934	8.1	2,087	17.7	1,153	123.4

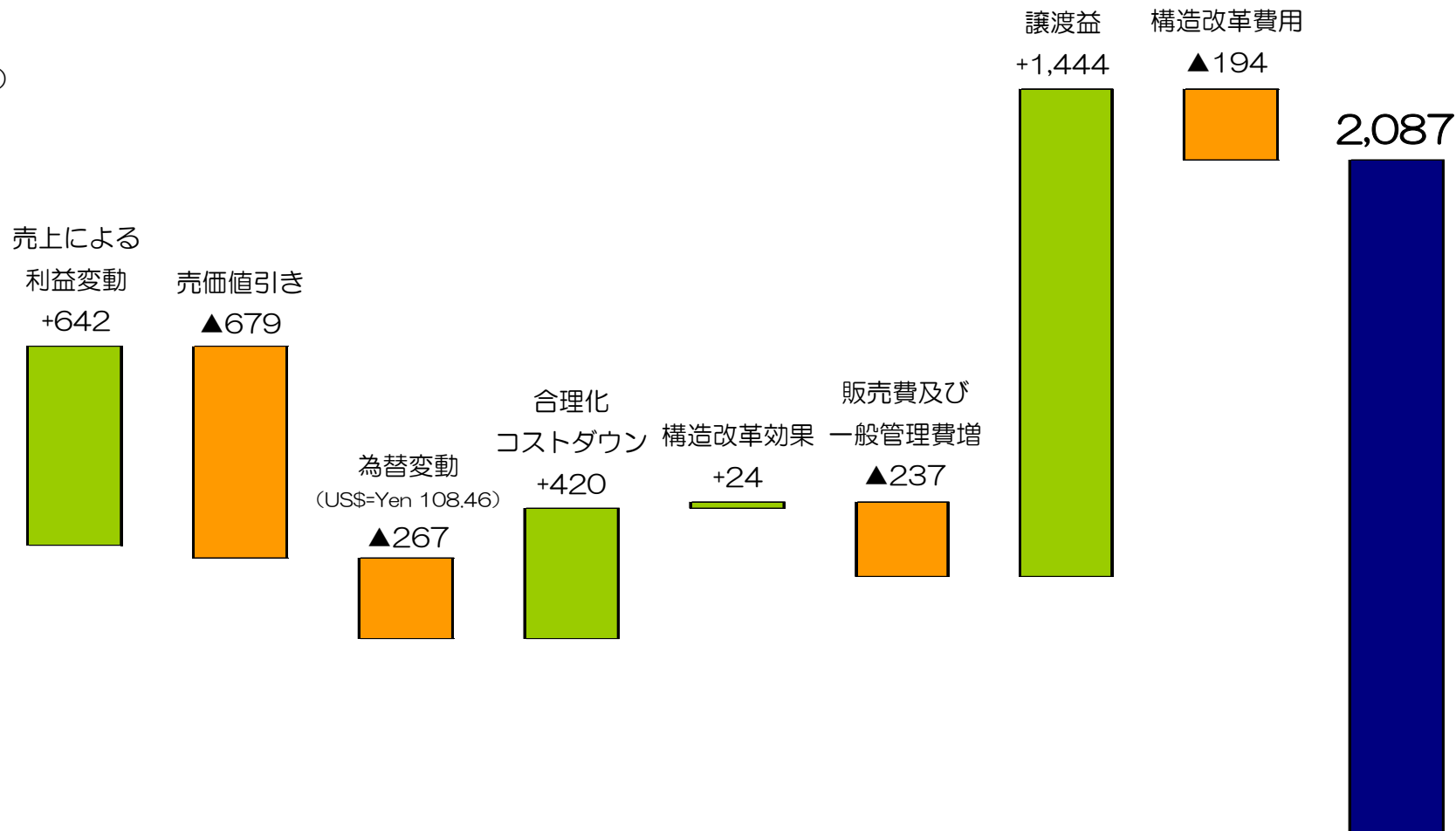
営業利益増減分析

2016年3月期
934億円

営業利益 +1,153億円

2017年3月期
2,087億円

(単位：億円)



2017年3月期 セグメント別四半期実績



(億円)		2016年3月期 第4四半期 (A)	2017年3月期 第3四半期 (B)	2017年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	354	336	350	△ 4	△ 1.1	14	4.2
	インダクティブデバイス	363	366	376	13	3.6	10	2.7
	その他受動部品	658	777	465	△ 193	△ 29.3	△ 312	△ 40.2
	受動部品合計	1,374	1,479	1,191	△ 183	△ 13.3	△ 288	△ 19.5
	記録デバイス	460	707	681	221	48.0	△ 26	△ 3.7
	その他磁気応用製品	229	216	229	0	0.0	13	6.0
	磁気応用製品合計	689	924	910	221	32.1	△ 14	△ 1.5
	フィルム応用製品合計	461	764	544	83	18.0	△ 220	△ 28.8
	その他	105	81	98	△ 7	△ 6.7	17	21.0
	合計	2,629	3,248	2,743	114	4.3	△ 505	△ 15.5
営業利益	受動部品	165	204	1,476	1,311	794.5	1,272	623.5
	磁気応用製品	2	48	△ 108	△ 110	-	△ 156	-
	フィルム応用製品	56	162	50	△ 6	△ 10.7	△ 112	△ 69.1
	その他	12	△ 16	△ 17	△ 29	-	△ 1	-
	小計	235	398	1,401	1,166	496.2	1,003	252.0
	全社および消去	△ 60	△ 73	△ 82	△ 22	-	△ 9	-
	合計	175	325	1,318	1,143	-	993	305.5
営業利益率		6.7%	10.0%	48.0%	41.3pt	-	38.0pt	-
為替	対ドルレート (円)	115.46	109.19	113.85				
	対ユーロレート (円)	127.37	117.74	121.25				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2017/4q_1.htm